耳かけ型補聴器

フォナック ボレロ B

Phonak Bolero B

取扱説明書



A Sonova brand

PHONAK
life is on

はじめに

このたびはフォナック補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

⃠ 禁止	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■ 安全にお使いいただくために

自分で操作ができない方、自分で意思表示ができない方が使用される場合は、必ず周りの方が気をつけて、1人で使用させないでください。
また、36か月未満の乳幼児へは使用しないでください。

ご使用にあたって

■ 本体、電池の取り扱いについて

⃠ 禁止

- 下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用しないでください。
  - 耳の治療中の方、耳の中や耳の後ろに痛みまたは炎症がある場合
  - 過去90日以内に耳だれがあった場合
  - 過去60日以内に突発性または進行性の聴力低下があった場合
  - 過去60日以内に左右どちらかの耳に聴力低下があった場合
  - 急性または慢性のめまいがある方
- 音量を大きくしすぎないでください。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障、けがなどの原因になります。
- レントゲン撮影、CTスキャンなどの画像診断器で使用する放射線（X線など）の直接照射は補聴器に悪影響を与える場合があります。これらの機器を用いた撮影を行う前には医師に補聴器を外すかどうかをお尋ねください。
  またMRIスキャンは強い磁力を用いますので、MRI室に入る前には必ずお外しください。
- 高気圧酸素治療のときは圧力により発火や故障の恐れがあるため、治療室内に持ち込まないでください。
- 過度の湿気や高温な場所は避けてください。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。

- 補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水に濡らさないでください。(例：お風呂に入るとき)
  また、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 電池は火中に投げ入れないでください。
- 補聴器本体、電池単体および付属品（耳せん等）を子どもの手の届くところやペットのそばに保管しないでください。万が一、誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。電池の誤飲によって化学やけどを引き起こす可能性があります。
- 変形したり傷がある電池は使用しないでください。

⚠ 警告

- 通信機能が搭載されている器種におきましては、心臓ペースメーカ（およびICD）の動作に影響を及ぼす場合があります。
  心臓ペースメーカ（およびICD）を装着されている方は、補聴器を埋め込み部分から少なくとも15cm以上離してご使用ください。

⚠ 注意

- 指向性マイクロホンが作動している場合は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
- 無線通信機能が作動している場合は、強力な電波（電磁波）を発する機器に近づかないようにしてください。
- 補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。(M／P／SPタイプ)

- ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30秒ほど待ってからご使用ください。(M／P／SPタイプ)
- 使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 不要になった補聴器は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 汗、湿気、皮脂、耳あか、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。
- 補聴器を使用する前、あるいは使用中に次の症状がある場合には、使用を中止して耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
  - 耳漏が生じたとき。
  - 耳の治療が必要になったとき。
  - 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
  - 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ、湿疹が生じたとき。
  - 使用すると頭痛や疲れが生じるとき。
  - 補聴器の外観、音質、音量等に異常を感じたとき。
  - めまいが生じたとき。
  - 部品が耳中に残留したとき。

(フィッティングを行う専門家の方へ)

- 132dB SPLを超える音圧レベルは、残存聴力を害する恐れがあるのでご注意ください。
- 安全規格に適合していない機器に補聴器を接続してフィッティングを行わないでください。

■ 充電用ACアダプタの取り扱いについて（PRタイプ）

⚠ 警告

- 充電の際には専用のACアダプタを使用してください。
- 濡れた手でACアダプタのコードや電源コンセントに触れないでください。感電の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- 電源コンセントにつながれた状態で、電極接点などに手や指など体の一部を触れさせないでください。感電、傷害、故障の原因となります。
- ACアダプタを電源コンセントに差し込むときは金属類を触れさせないよう注意し、確実に差し込んでください。誤った場合、感電、ショート、火災の原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った場合、火災、故障の原因となります。
- 電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本体、ACアダプタには触れないでください。落雷の際に感電の原因となります。
- 充電中はACアダプタを安定した場所に置いてください。またACアダプタを布などで覆ったり、包んだりしないでください。

⚠ 注意

- ACアダプタを電源コンセントから抜く場合はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- ACアダプタのコードの上に重いものを載せないでください。感電、火災の原因となります。

ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元に戻すものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調節してお使いください。
- 補聴器はお客様専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。耳鼻咽喉科専門医にて聴力測定を年に一度はお受けになることをお勧めします。
- 耳鳴マスカ機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用にあたっては必ず医師の指示に従ってください。

もくじ

はじめに 2
安全上のご注意（必ずお守りください） 3
ご使用にあたって 4
ご使用になる前に 9
本書の器種名の表記について 11
各部の名称 13
電池の交換方法（M／P／SPタイプ） 15
充電する（PRタイプ） 17
補聴器の使い方 26
ボリュームコントロールについて（P／SP／PRタイプ） 34
プログラムスイッチについて 35
便利なプログラムについて 38
ワイヤレスアクセサリー（別売）について 44
防塵・防水性能に関する情報と注意 47
ご使用後のお手入れ方法 49
耳せんの交換 51
補聴器の保管 54
初めてお使いになる方に 55
故障かと思われたときは 56
仕様・性能 57
アフターサービス 82
シンボルマークの説明 83
保証について 85
Service Policy and Warranty 86
クイックガイド（M／P／SPタイプ） 87
クイックガイド（PRタイプ） 89

本書の器種名の表記について

フォナック ボレロ Bには、空気電池タイプと充電池タイプの2種類のタイプがあります。
空気電池タイプは、グレードやタイプ（電池サイズ）の組み合わせで合計12の器種が存在します。
充電池タイプは、3つのグレードに1器種ずつ存在します。
器種名の見方については下記をご参照ください。

（空気電池タイプ）

グレード		タイプ（電池サイズ）
フォナック ボレロ B90 フォナック ボレロ B70 フォナック ボレロ B50 フォナック ボレロ B30	×	M（PR41(312)） P（PR48(13)） SP（PR48(13)）

（充電池タイプ）

グレード		タイプ
フォナック ボレロ B90 フォナック ボレロ B70 フォナック ボレロ B50	×	PR

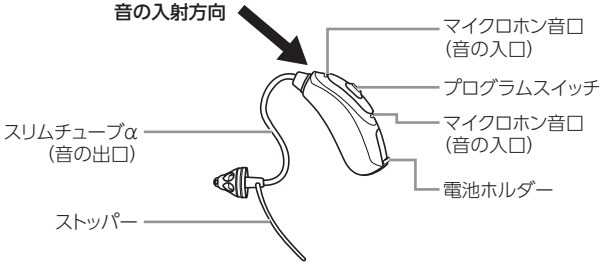
本文中では、器種名を一部省略する場合があります。該当器種の見方は次の表をご参照ください。

文中の表記（例）	該当器種
「ボレロ B90」	フォナック ボレロ B90-M フォナック ボレロ B90-P フォナック ボレロ B90-SP フォナック ボレロ B90-PR
「Pタイプ」	フォナック ボレロ B90-P フォナック ボレロ B70-P フォナック ボレロ B50-P フォナック ボレロ B30-P

各部の名称

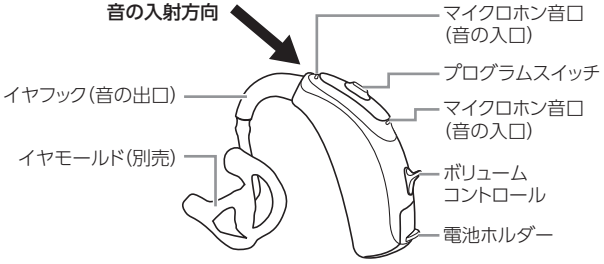
■ フォナック ボレロ B-M

電池サイズ：PR41（312）

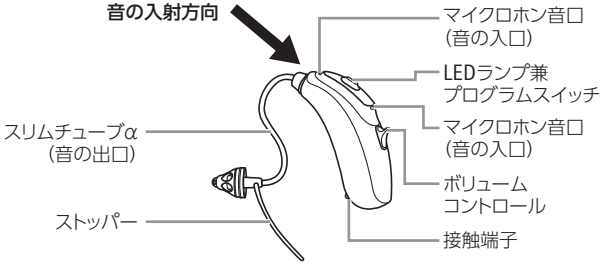


■ フォナック ボレロ B-P/SP

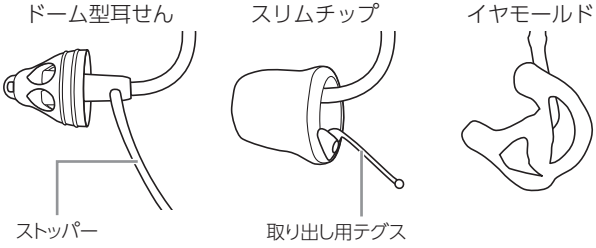
電池サイズ：PR48（13）



■ フォナック ボレロ B-PR

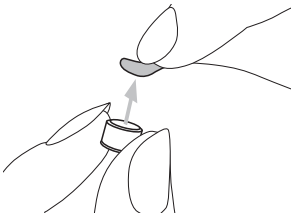


■ 耳せん

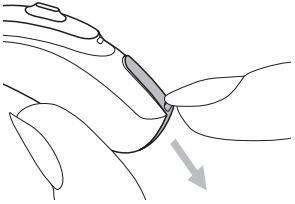


電池の交換方法（M／P／SPタイプ）

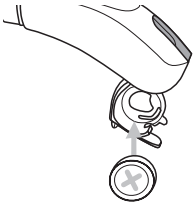
❶ 新しい電池の保護シールをはがします。シールが貼ってある側が（+）面です。



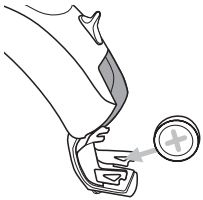
❷ 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出します。



❸ 新しい電池を電池ホルダーに入れます。電池の（+）面と電池ホルダーの＋マークが同じ方向になるようにあわせます。

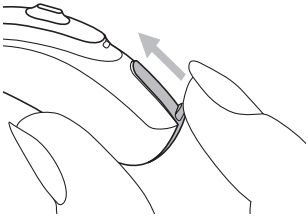


Mタイプ



P／SPタイプ

4 カチッと閉まるまで、電池ホルダーをゆっくり押します。



⚠ 注意

- 電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。
- 電池は本体側ではなく電池ホルダーに入れてください。電池を本体側に入れてから電池ホルダーを閉じようとすると、電池ホルダーが破損する恐れがあります。

MEMO

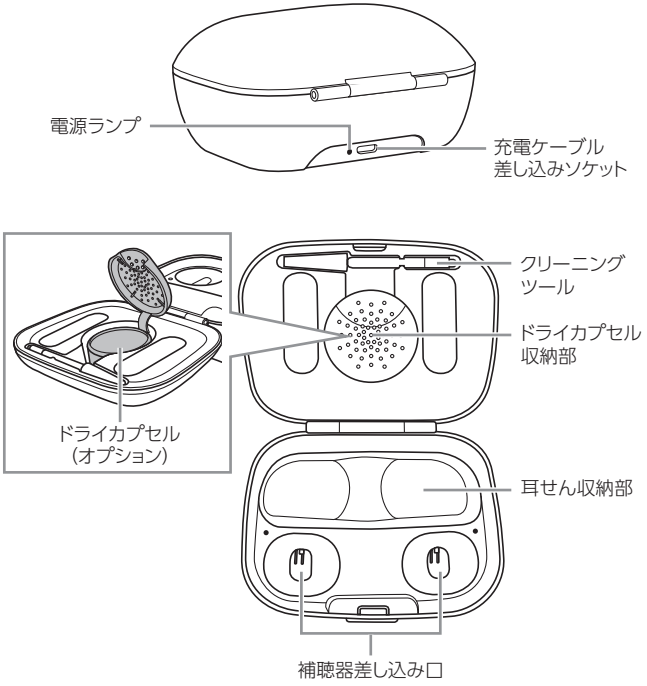
- 電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池の（+）面と（−）面が逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。
- 補聴器を使用しないときは、電池ホルダーを開けたまま保管してください。
- 電池がなくなりかけると、電池寿命お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、電池を新しいものに交換してください。
  （電池が使用できなくなる約30分前に鳴りますが、リモコン（別売）等ワイヤレスアクセサリーを使用している場合は短くなるなど、補聴器の使用状態によって異なります。）

充電する（PRタイプ）

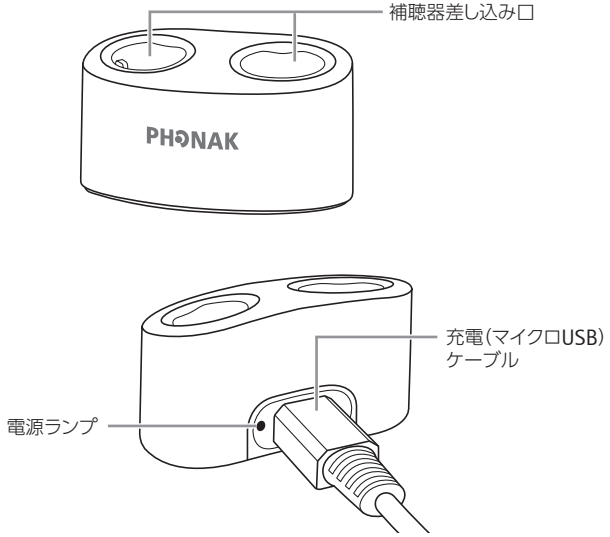
PRタイプにはリチウムイオン二次電池が内蔵されています。ご使用の前に、専用の充電器を使って充電してください。

充電器

■ チャージャーケースBTE



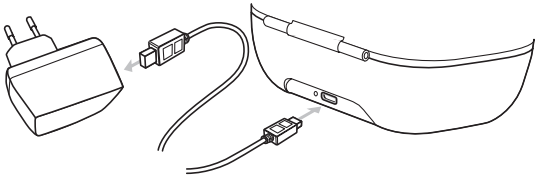
■ ミニチャージャーBTE（別売）



充電の準備

■ 充電（マイクロUSB）ケーブルを接続する

❶ 充電（マイクロUSB）ケーブルの片方のプラグをACアダプタに、もう一方のプラグを充電ケーブル差し込みソケットに差し込みます。



❷ ACアダプタを電源コンセントに差します。
電源ランプが緑色に点灯します。

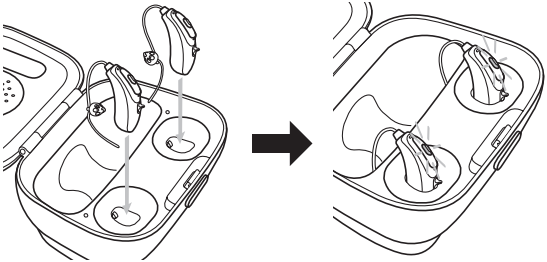
充電する

■ チャージャーケースBTEまたはミニチャージャーBTE（別売）を使う

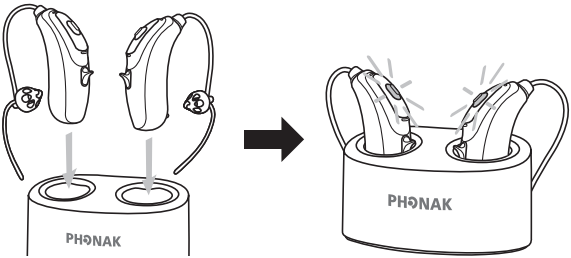
「充電（マイクロUSB）ケーブルを接続する」（19ページ）を参照し、充電ケーブルを事前に接続しておいてください。

❶ 補聴器差し込み口に補聴器本体を入れます。

このとき、補聴器の左右を間違えないようにご注意ください。充電中は補聴器本体のLEDランプが緑色に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。



チャージャーケースBTE

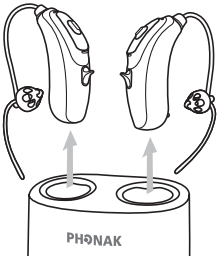


ミニチャージャーBTE（別売）

2 充電が完了したら補聴器を取り出します。



チャージャーケースBTE



ミニチャージャーBTE（別売）

⚠ 注意

- 補聴器本体や充電器が汗や水で濡れている場合は、必ず乾いた清潔な布などで拭き取ってから充電してください。

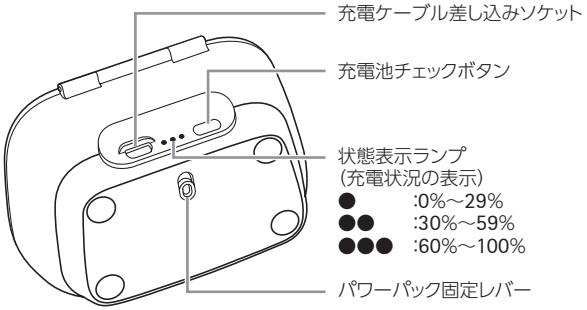
MEMO

- 周囲温度が5℃から40℃の間で充電してください。
- 過充電防止機能が付いていますので、一昼夜充電が可能です。
- チャージャーケースBTEは、蓋を閉じた状態でも充電できます。
- 電池がなくなりかけると、電池寿命お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、すみやかに充電を開始してください。
  （電池が使用できなくなる約60分前に1回目、約30分前に2回目が鳴りますが、リモコン（別売）等ワイヤレスアクセサリーを使用している場合は短くなるなど、補聴器の使用状態によって異なります。）
- 充電にかかる時間は以下のとおりです。初めて使用するときは、3時間充電することをお勧めします。
  - 100％充電：約3時間
  - 80％充電　：約90分間
  - 50％充電　：約60分間
  - 30％充電　：約30分間
- 補聴器を取り出すときは、レシーバチューブではなく補聴器本体をつまんで取り出してください。

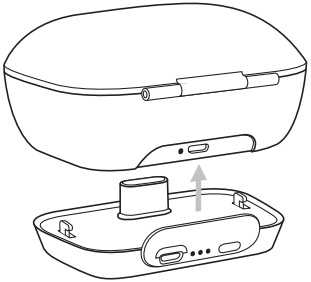
■ パワーパック（別売）を使う

チャージャーケースBTEのオプション品です。パワーパック（別売）にはリチウムポリマー二次電池が内蔵されています。

（パワーパック（別売）底部）



❶ パワーパック（別売）をチャージャーケースBTEの底部に取り付け、パワーパック固定レバーでロックします。



❷ 「チャージャーケースBTEまたはミニチャージャーBTE（別売）を使う」（20ページ）の手順で充電します。

MEMO

- 充電（マイクロUSB）ケーブルを使ってパワーパック（別売）を充電できます。パワーパック（別売）をチャージャーケースBTEに取り付けて充電するときは、補聴器とパワーパック（別売）を同時に充電することが可能です。
- 充電中は状態表示ランプで充電状況を確認できます。
- 初めて使用するときは、3時間充電することをお勧めします。
- フル充電のパワーパック（別売）で2台の補聴器を7回充電することができます。
  パワーパック（別売）の充電池残量を確認するときは、充電池チェックボタンを押してください。
- 周囲温度が5℃から40℃の間で充電してください。

補聴器の使い方

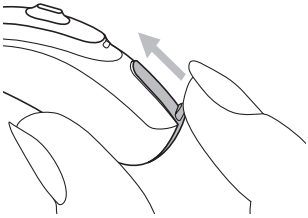
電源の入れ方／切り方

■ M／P／SPタイプの場合

電池ホルダーは電源の入／切機能を兼ねています。

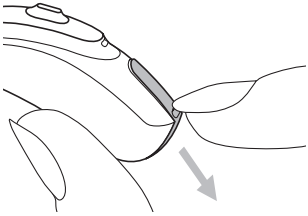
❶ 電源を入れる：

電池ホルダーを閉めます。



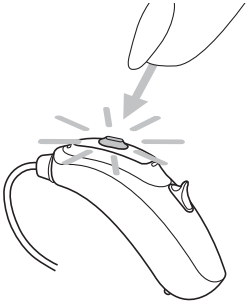
❷ 電源を切る：

電池ホルダーを開けます。



■ PRタイプの場合

プログラムスイッチを3秒間長押しします。
短く1回点滅＝電源オン
短く2回点滅＝電源オフ



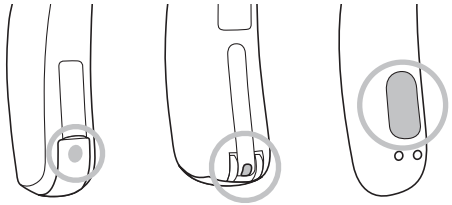
MEMO

- 電源を入れると、補聴器にあらかじめ設定された音量とプログラムが起動します。
- 電源を入れてから数秒後に音が出ます。スタートアップの遅延が設定されている場合は、さらに約6秒または12秒遅れて音が出ます。

補聴器の付け方／外し方

■ 装用の前に

補聴器には左耳用・右耳用がありますので左右をご確認ください。



左耳用：青色
右耳用：赤色

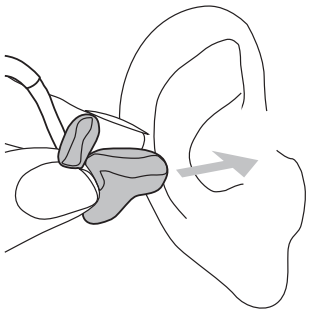
Mタイプ　P／SPタイプ　PRタイプ

■ 補聴器の付け方

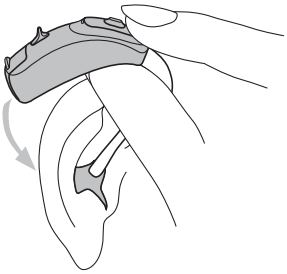
イヤモールドの場合：

❶ 図のようにイヤモールドを持ち、耳の穴にゆっくり入れます。

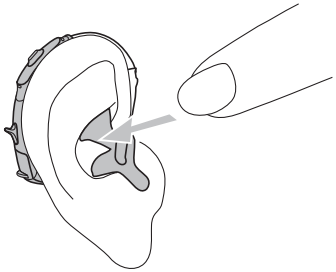
耳介部分を軽く後ろに引っぱりながら入れると、入れやすくなります。



❷ マイクロホンが耳の上部にくるように、補聴器本体を耳介の後ろにかけます。

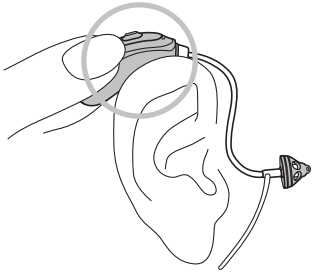


❸ イヤモールドの上部を耳穴の上部にゆっくり入れます。

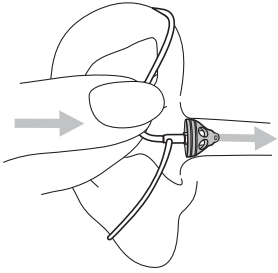


耳せん／ドーム型耳せん／スリムチップの場合：

❶ マイクロホンが耳の上部にくるように、補聴器本体を耳介の後ろにかけます。

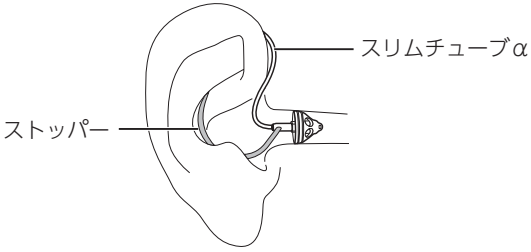


❷ 耳せんが付いているチューブを図のように持ち、外耳道に耳せんをゆっくり押し込みます。



❸ オープン型耳せん、クローズ型耳せん、パワー型耳せんの場合、チューブのストッパーを図のように耳のくぼみに沿うようにはめます。

ストッパーが必要でない場合、取り外すことも可能です。お買い求めの販売店にお尋ねください。



⚠ 注意

- ストッパーが長い場合は、少し切り取ることも可能です。その際、固定できないほど短くしないように十分気をつけてください。
- 耳せんは、スリムチューブαから外れないように作られていますが、万が一外れた耳せんが耳の中に入ってしまった場合には、すみやかに医療機関にご相談ください。

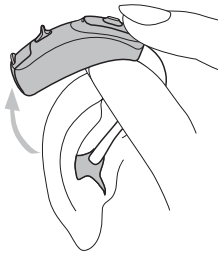
MEMO

- ストッパーが不要であれば、取り外すことも可能です。お買い求めの販売店にお尋ねください。

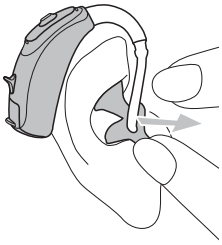
■ 補聴器の外し方

イヤモールドの場合：

❶ 補聴器本体を耳介から外します。



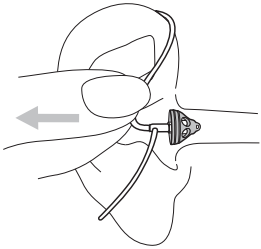
❷ チューブではなくイヤモールドをつかみ、ゆっくり耳から取り出します。



耳せん／ドーム型耳せん／スリムチップの場合：

図のようにスリムチューブαのチューブ部分をつかみゆっくり耳から取り出します。

スリムチップの場合は取り出し用テグスを使って取り出します。



ボリュームコントロールについて（P／SP／PRタイプ）

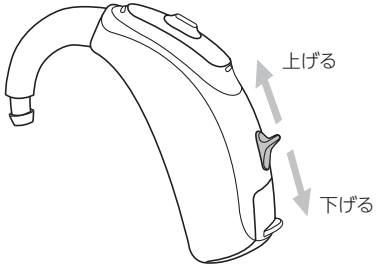
P／SP／PRタイプには、ボリュームコントロールが搭載されています。

音量を上げるには：

ボリュームコントロールを上に押します。

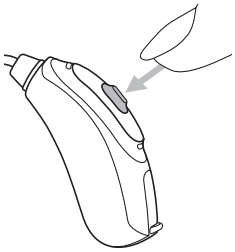
音量を下げるには：

ボリュームコントロールを下に押します。



プログラムスイッチについて

あらかじめ設定しておくことにより、プログラムスイッチの押し方の違いで2通りの機能を使い分けることができます。
また、プログラムスイッチを無効にする（触れても作用しない）ことも可能です。



MEMO

- これらの設定内容については、お求めの販売店にご確認ください。

プログラムスイッチを短く押す

（以下のいずれかの設定でご使用いただけます）

■ 片耳装用の場合

①	プログラム切り替え
②	音量調節（上げる）  上限に達したあとは元の音量に戻ります。
③	音量調節（下げる）  下限に達したあとは元の音量に戻ります。

※ 図の横軸はステップ、縦軸は音量を表しています。

※ P／SP／PRタイプはボリュームコントロールを搭載しているため、①の設定のみが可能です。

■ 両耳装用の場合

	右側の補聴器	左側の補聴器
①	プログラム切り替え	
②	音量調節（両耳上げる） 	音量調節（両耳下げる） 
③	音量調節（両耳上げる）  上限に達したあとは元の音量に戻ります。	両耳プログラム切り替え
④	両耳プログラム切り替え	音量調節（下げる）  下限に達したあとは元の音量に戻ります。

※ 図の横軸はステップ、縦軸は音量を表しています。

※ P／SP／PRタイプはボリュームコントロールを搭載しているため、①の設定のみが可能です。

プログラムスイッチを長押しする（M／P／SPタイプ）

（以下のいずれかの設定でご使用いただけます）

①	スタートアッププログラムに戻る
②	マイクロホンの感度を下げる
③	選択したプログラムにジャンプする

※ 設定内容については、お求めの販売店にご確認ください。

MEMO

- PRタイプの場合は、プログラムスイッチ長押しで電源入／切が行えます。（27ページ）

便利なプログラムについて

フォナック ボレロ Bには聞こえの困難な状況に役立つ様々な機能がございます。
これらの機能の使用方法や、使用可能かどうかについては、販売店にご確認ください。

全方向（360°）からのことば

このプログラムは、前方以外からの音を聞きやすくするため、指向性マイクロホンの方向を自由に選択できる機能です。
たとえば、車を運転しているとき、隣の人や後ろの人と会話をするときなど、相手に顔を向けることができないときにご使用いただくと便利です。
方向を手動で切り替えるには、プログラムスイッチまたはリモコン（別売）を使います。

（対応器種）

B90
B70
両耳装用時



■ 自動切り替えの場合

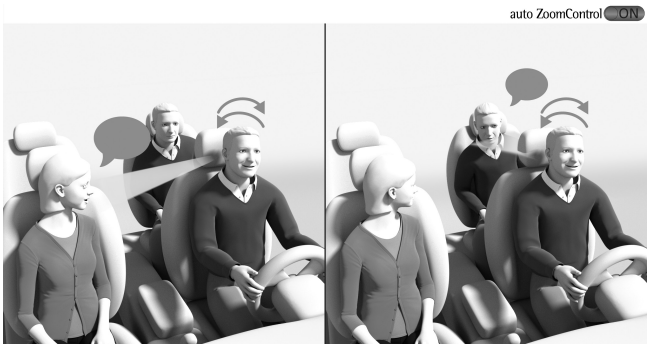
あらかじめ自動切り替え可能に設定しておくと、プログラムスイッチまたはリモコン（別売）を使いこのプログラムに切り替えて作動させれば、会話音が存在する前後左右の方向を補聴器が自動的に判断し、指向性マイクロホンの方向を切り替えます。

■ プログラムスイッチまたはリモコン（別売）による手動切り替えの場合

プログラムスイッチを押すと、あらかじめ設定された前後左右いずれかの方向に指向性マイクロホンの方向が切り替わります。
ダイレクトタッチ機能を使用すると、プログラム切り替えに使用した補聴器の方向に指向性マイクロホンの方向が切り替わります。

MEMO

- 指向性マイクロホンの方向を切り替えるには、販売店にてあらかじめ補聴器に設定しておく必要があります。
- プログラムおよびダイレクトタッチ機能の設定については販売店にご相談ください。



電話用プログラム

電話の受話器の音を聞きやすくするプログラムです。
マイクロホン、またはTコイル（Mタイプを除く）を利用できます。

イージーフォン

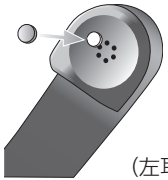
イージーフォンは、付属の磁石を取り付けた受話器を耳にあてると、自動的に電話用プログラムに切り替わる機能です。
切り替わるとき、お知らせ音（ピポ）が鳴ります。
受話器を耳から離すと、数秒後に元のプログラムに自動的に戻ります。

（対応器種）
全クラス

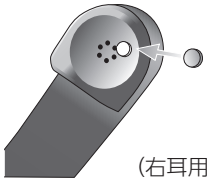


■ イージーフォン用の磁石を取り付ける方法

受話器をきれいにし、図のような位置に専用の磁石を付属の両面テープで貼ります。



（左耳用）



（右耳用）

⚠ 注意

- 磁石は子どもの手の届かないところに保管してください。もし誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

MEMO

- 磁石で受話器の音が出る部分を覆わないようにしてください。受話器を近づけても切り替わらない場合は、磁石の位置を変更してください。
- 磁石は、クレジットカードなどの磁気のあるものに影響しますので30cm以上離してください。

デュオフォン

デュオフォンは、電話用プログラムを使用中に、片側の受話器の音声を両耳で聞くことができる機能です。（たとえば、右側にあてた受話器の音声が、左側の補聴器からも聞こえます。）両耳で聞くことにより片耳の場合よりも電話の音声を聞き取りやすくなります。
イージーフォンと併用してご使用の場合は、受話器を補聴器に近づけると自動で切り替わります。

（対応器種）

B90
B70
B50
両耳装用時



■ イージーフォンを併用する場合

磁石の付いた受話器に補聴器を近づけると自動的に電話用プログラムに切り替わり、デュオフォンが作動します。

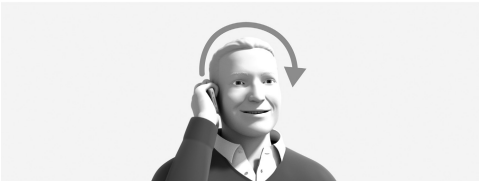
電話する側	操作方法
右側	磁石の付いた受話器に右側の補聴器を近づけてイージーフォンに切り替えます。 イージーフォンが作動している間は、電話の音声が左側の補聴器にも同時に送信されます。
左側	磁石の付いた受話器に左側の補聴器を近づけてイージーフォンに切り替えます。 イージーフォンが作動している間は、電話の音声が右側の補聴器にも同時に送信されます。

■ プログラムスイッチまたはリモコン（別売）で切り替える場合

あらかじめ補聴器に電話用プログラムを設定しておき、必要に応じて切り替えます。
受話器をあてる側の耳をあらかじめ設定しておくか、ダイレクトタッチ機能による指定が可能です。
プログラムおよびダイレクトタッチ機能の設定については販売店にご相談ください。

設定	ダイレクトタッチ	電話する側	操作方法
1	オン	右側	右側の補聴器のプログラムスイッチで電話用プログラムに切り替えます。右の電話の音声が同時に左側の補聴器に送信されます。
		左側	左側の補聴器のプログラムスイッチで電話用プログラムに切り替えます。左の電話の音声が同時に右側の補聴器に送信されます。
2	オフ	右側	左右どちらかの補聴器のプログラムスイッチを押すかリモコン（別売）を操作して、電話用プログラム（右側設定）に切り替えた場合は、右側から入る電話の音声が同時に左側の補聴器に送信されます。
3	オフ	左側	左右どちらかの補聴器のプログラムスイッチを押すかリモコン（別売）を操作して、電話用プログラム（左側設定）に切り替えた場合は、左側から入る電話の音声が同時に右側の補聴器に送信されます。

※ ダイレクトタッチ機能はプログラムスイッチで操作したときのみ有効です。



ロジャー/DAI（外部入力）プログラム

補聴器に、ロジャー（デジタルワイヤレス補聴援助システム）を接続する場合に使用します。
外部入力のみ、または外部入力と補聴器のマイクロホンのミキシングが可能です。

（対応器種）
全クラス



■ イージーロジャーⅡを併用する場合

イージーロジャーⅡを設定した場合、ロジャー受信機が接続され、ロジャー送信機から会話音が送られると自動的にプログラムが切り替わります。

MEMO

- イージーロジャーⅡの対象器種はB90-P、B90-SP、B70-P、B70-SP、B50-P、B50-SPです。

■ プログラムスイッチまたはリモコン（別売）で切り替える場合

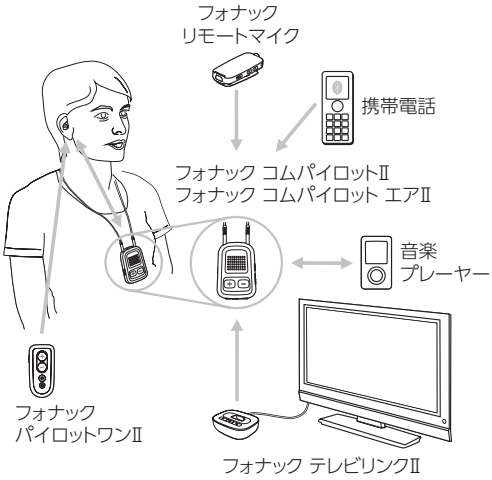
あらかじめ補聴器にロジャー/DAIプログラムを設定し、必要に応じて切り替えます。



ワイヤレスアクセサリー（別売）について

デジタルワイヤレスアクセサリーについて

デジタルワイヤレスアクセサリーを使い補聴器の音量調節やプログラム切り替えを行ったり、電話や騒音下での会話、テレビや音楽を楽しむときなど、様々な状況下で補聴器の機能を追加することができます。



フォナック コムパイロットⅡ（別売）またはフォナック コムパイロット エアⅡ（別売）を使用すれば、補聴器の音量調節やプログラム切り替えが手元で行えます。また同様に、MP3プレーヤーなどのオーディオ機器やテレビ・携帯電話を接続して、音声をワイヤレスで補聴器に送ることも可能です。音声入力の方法はBluetooth®や外部入力端子があります。

■ スマートフォンアプリ

フォナック ボレロ Bにはスマートフォンをリモコンとして使用できる便利なアプリが用意されています。
使い慣れたスマートフォンから、以下の操作が可能です。

- 左右の補聴器の個別音量調節
- 希望するプログラムをダイレクトに呼び出し
- 複数の入力音源を切り替え
- アプリからBluetooth®ペアリングモードの呼び出し



MEMO

- アプリのダウンロードは無料です。
- このアプリをご使用になる場合は、フォナック コムパイロットⅡ（別売）またはフォナック コムパイロット エアⅡ（別売）が必要です。詳しくはフォナック コムパイロットⅡ（別売）またはフォナック コムパイロット エアⅡ（別売）の取扱説明書、フォナック補聴器のホームページをご覧ください。

ロジャーについて

話し手と聞き手の距離が離れた広い場所や周囲の声が行き交う公共の場所など、補聴器を利用しても聞き取りが困難な環境があります。そんなときに役立つのがロジャーです。
遠くにいる話し手の声をキャッチし電波を用いて音声を送ることで、快適な聞き取りを実現します。



送信機：マイクロホンを話し手の口元やスピーカーの近くに設置、もしくは外部入力に音源を接続します。

受信機：一体型は補聴器に取り付けて使用します。オーディオシューを介して、ユニバーサルタイプの受信機も使用できます。Tコイル利用型はネックループを首からかけて使用します。

これらの機器を使用する際は補聴器の設定およびプログラム切り替え操作が必要な場合があります。
詳細についてはそれぞれのカタログ、または取扱説明書をご覧ください。

防塵・防水性能に関する情報と注意

フォナック ボレロ Bには、下記の防塵･防水性能が備わっています。この性能を維持するため、以下の注意点をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

IP等級	対象製品
IP68	フォナック ボレロ B-M フォナック ボレロ B-P フォナック ボレロ B-SP フォナック ボレロ B-PR ロジャー受信機 ロジャー 18

■ 一般的な注意点

ヘアスプレーやその他の化粧品を使用する場合、補聴器の聞き取りに影響が発生する可能性がありますので、耳から取り外したあとにヘアスプレー等をご使用ください。

■ 使用上における注意

- 補聴器は電池ホルダーが完全に閉じた状態でのみ防塵・防水性能を担保します。髪の毛等が挟まれないように電池ホルダーを完全に閉じてご使用ください。(PRタイプを除く)
- 汗やほこりが多く付いてしまった場合、乾いた布等できれいに拭き取り乾燥ケースに入れて乾燥させてください。(このときドライヤーは使用しないでください)

- 日ごろのケアや定期的な点検に関しては、以下をご参照ください。
  - スキューバダイビング、潜水、水上スキーやその他の水上でのアクティビティをされる前には補聴器を取り外してください。
  - 補聴器に水が付着することで電池への空気供給が制限されて一時的に補聴器の動作が止まることがあります。その場合は、柔らかい布もしくはティッシュで水分を拭き取り、濡れていないことを確認してから、電池ホルダーを開けて空気を供給してください。(PRタイプを除く)
  - ロジャー受信機 ロジャー 18は、この補聴器に接続した状態でのみ防塵・防水性能を担保します。受信機単体では、防塵・防水性能が保持されませんのでご注意ください。
  - オーディオシュー AS 18を使用したときは、防塵・防水性能は保持されませんのでご注意ください。
- 防塵・防水性能を維持するために、異常の有無にかかわらず1年に一度のメーカーによるメンテナンスをお勧めします。

ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

■ M／P／SPタイプの場合

1. 補聴器本体から電池を取り出します。
2. ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体と電池に付いた汗や汚れを拭き取ります。
3. 電池ホルダーの中も湿気があるとさびやすいため、綿棒などで水分を取ってください。
4. 耳あかが音口部にたまると故障の原因となることがあります。付属のブラシで音口部を下に向けて掃除してください。

■ PRタイプの場合

1. ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体に付いた汗や汚れを拭き取ります。
2. 耳あかが音口部にたまると故障の原因となることがあります。付属のブラシで音口部を下に向けて掃除してください。

⚠ 注意

- 補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉など）は絶対にご使用にならないでください。
- 水滴が残る危険があるため、チューブや耳せんを水で洗ったり、水中に入れたりしないようにしてください。
- 水滴がチューブや耳せんに残っていると、音が出ない、または補聴器の電気部分が壊れる恐れがあります。
- チューブと耳せんは3か月に1回のペースで交換してください。また、チューブが硬くなったり、もろくなってきた場合はすぐに交換してください。
- チューブから耳せんを外して耳に装用しないでください。耳を傷つける恐れがあります。

耳せんの交換

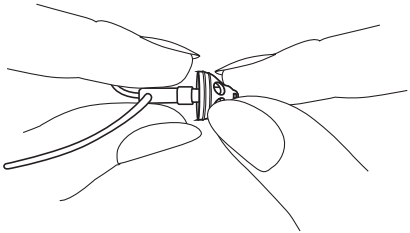
スリムチューブαをご使用の場合は、耳せんを交換および清掃する必要があります。
定期的に耳せんをチェックし、汚れていたり音質が低下している場合は交換してください。
交換する目安は4〜8週ごとです。

⚠ 注意

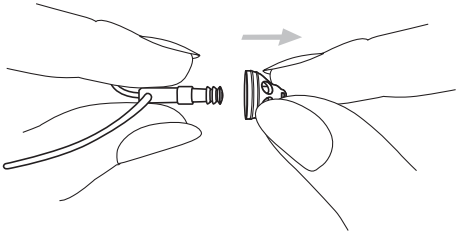
- 耳せんの取り外し／取り付けを行うときは、無理な力を加えないようにしてください。

耳せんを取り外す

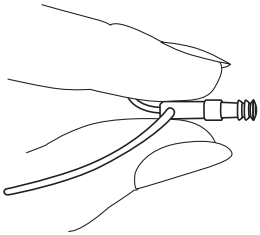
❶ 片方の手でスリムチューブαをつまみ、もう一方の手で耳せんをつまみます。



❷ ゆっくりと耳せんを引き抜きます。

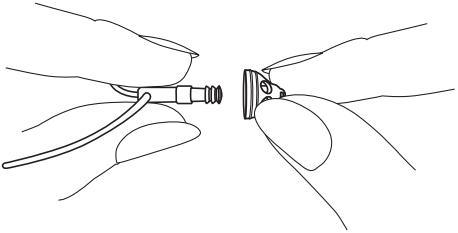


❸ 柔らかい布を使ってスリムチューブαをきれいに拭き取ります。



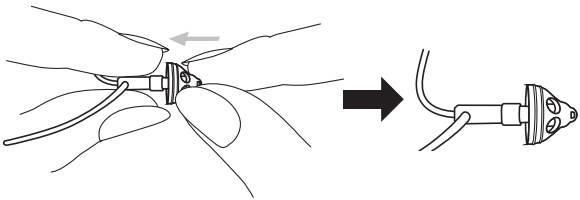
耳せんを取り付ける

❶ 片方の手でスリムチューブαをつまみ、もう一方の手で耳せんをつまみます。



❷ ゆっくりと耳せんを差し込みます。

スリムチューブαと耳せんが隙間なくしっかり固定されていることを確認してください。



補聴器の保管

■ M／P／SPタイプの場合

通常の保管方法：
(乾燥ケースを使用される場合)
電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケースに入れてください。

携帯する場合：
電池ホルダーを開けたまま補聴器を専用ケースに入れてください。
長期間補聴器をご使用にならない場合は電池を取り外しておいてください。

> ⚠ **注意**
>
> - 補聴器から必ず電池を取り出してください。
> 補聴器から取り出した電池は電池寿命が短くなりますので乾燥ケースに入れないようにしてください。

■ PRタイプの場合

補聴器をチャージャーケースBTEに差し込み、蓋を閉めて保管してください。

■ 輸送／保管時の環境条件

	輸送条件	保管条件
温度（℃）	-20～60	
湿度（%）	0～90	0～70
気圧（hPa）	200～1500	

初めてお使いになる方に

■ 第一段階

はじめは静かな家の中などで使用し、補聴器を付けることに慣れてください。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

■ 第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

■ 第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

■ 第四段階

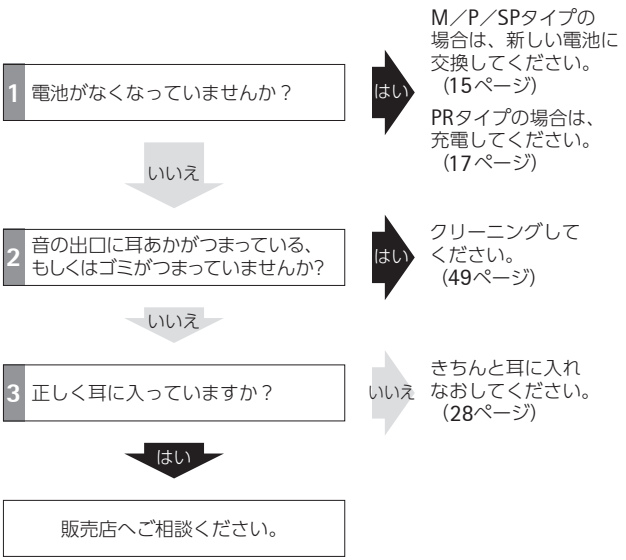
慣れてきたら、外で聞く練習をします。

MEMO

- 補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

故障かと思われたときは

補聴器が聞こえづらくなったときは、まず下記のようにお調べください。



仕様・性能

■ 補聴器の電波情報

アンテナタイプ	フェライトコイルアンテナ（誘導式）
周波数	10.6 MHz
占有周波数帯幅	498 kHz
変調方式	DQPSK
チャンネル	1チャンネル
通信可能範囲	18 cm
用途	両側の補聴器間で音声信号を送受信する
磁界強度※	-20.5 dBμA/m

※ 磁界強度の測定距離は3mです。

■ PRタイプの使用可能時間（100%充電の場合）

ワイヤレス通信未使用時　　：最大24時間
ワイヤレス通信5時間使用時　：最大20時間
ワイヤレス通信10時間使用時：最大16時間

※ 上記の時間は自社規定の測定値からの参考値です。
実際の使用時間は、使用環境や聴力レベル、電池の使用経過年月により変化します。

フォナック ボレロ B90-M
フォナック ボレロ B70-M
フォナック ボレロ B50-M
フォナック ボレロ B30-M

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中
最大音響利得（50dB入力）	56 +3 dB 以下（ピーク値） 48 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	122 +3 dB 以下（最大OSPL90） 112 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 4.5% 以下 800 Hz 4.5% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	75 ±6 dB（HFA MASL）

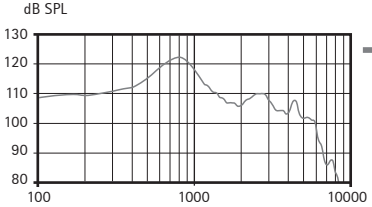
耳鳴マスカ機能使用時

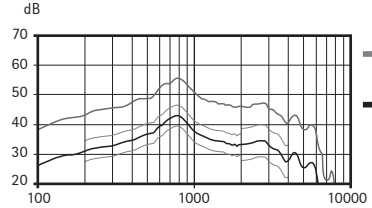
最大出力音圧レベル（ピーク値）	69 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	87 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.56 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	80～120時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりスリムチューブαを使用して測定・表示してあります。





※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-M
フォナック ボレロ B70-M
フォナック ボレロ B50-M
フォナック ボレロ B30-M

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中
最大音響利得（50dB入力）	63 +3 dB 以下（ピーク値） 54 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	129 +3 dB 以下（最大OSPL90） 121 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 8.0% 以下 800 Hz 6.0% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	84 ±6 dB（HFA MASL）

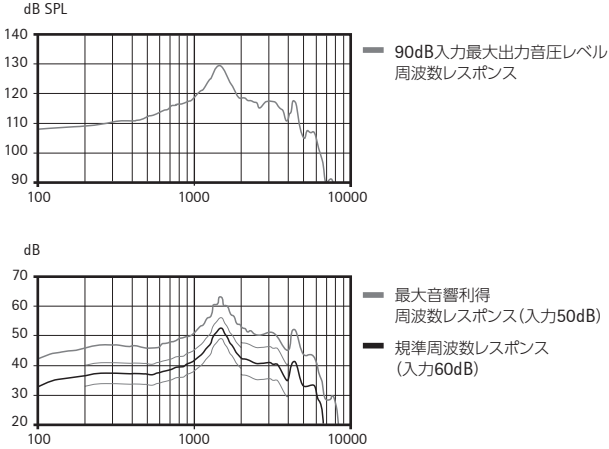
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	75 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	80 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.68 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	80～110時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパー入りフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-M
フォナック ボレロ B70-M
フォナック ボレロ B50-M
フォナック ボレロ B30-M

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中
最大音響利得（50dB入力）	64 +3 dB 以下（ピーク値） 53 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	130 +3 dB 以下（最大OSPL90） 120 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 8.0% 以下 800 Hz 6.0% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	80 ±6 dB（HFA MASL）

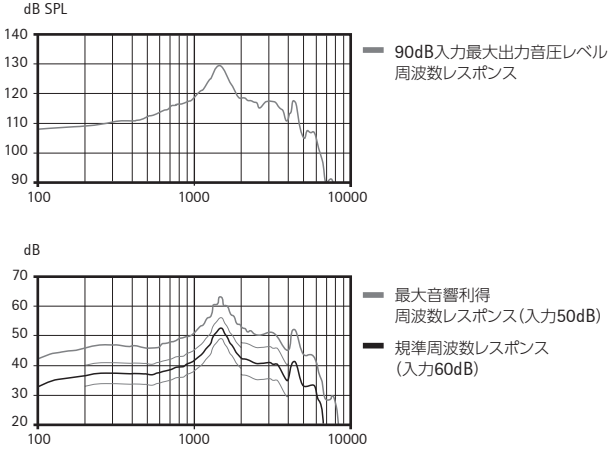
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	75 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	81 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.68 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	80～110時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパーなしフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-P
フォナック ボレロ B70-P
フォナック ボレロ B50-P
フォナック ボレロ B30-P

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	58 ＋3 dB 以下（ピーク値） 51 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	126 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 110 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　4.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.5% 以下
誘導コイル感度	77 ±6 dB（HFA MASL）

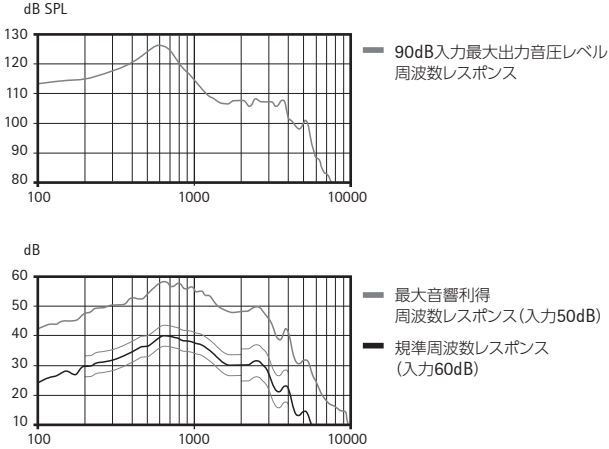
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	70 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	86 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	140～220時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりスリムチューブαを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-P
フォナック ボレロ B70-P
フォナック ボレロ B50-P
フォナック ボレロ B30-P

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	66 +3 dB 以下（ピーク値） 58 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	131 +3 dB 以下（最大OSPL90） 125 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 8.0% 以下 800 Hz 7.0% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	88 ±6 dB（HFA MASL）

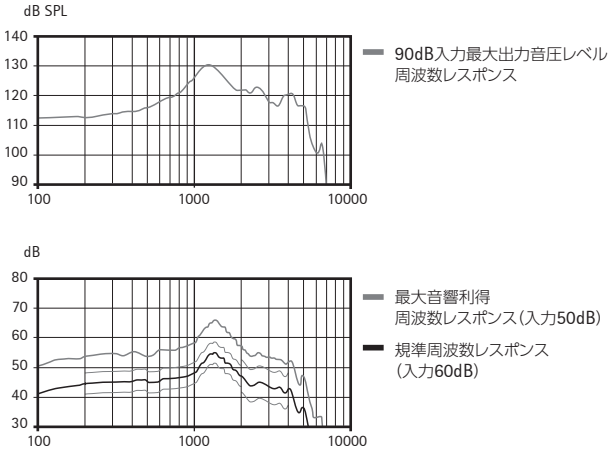
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	72 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	81 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	140～220時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパー入りフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-P
フォナック ボレロ B70-P
フォナック ボレロ B50-P
フォナック ボレロ B30-P

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	68 +3 dB 以下（ピーク値） 58 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	133 +3 dB 以下（最大OSPL90） 125 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 8.0% 以下 800 Hz 7.0% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	84 ±6 dB（HFA MASL）

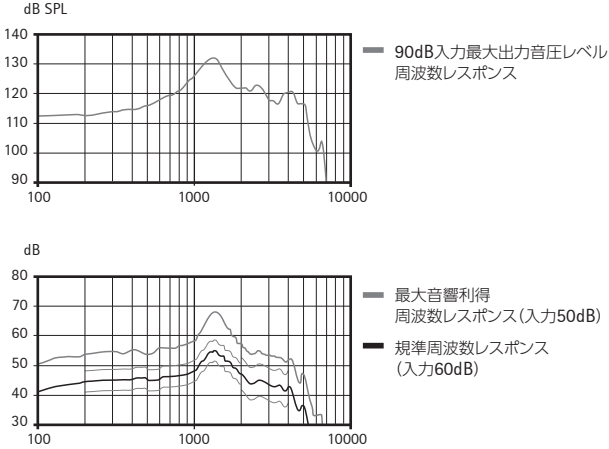
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	75 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	81 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	140～220時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパーなしフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-SP
フォナック ボレロ B70-SP
フォナック ボレロ B50-SP
フォナック ボレロ B30-SP

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	中高
最大音響利得（50dB入力）	68 +3 dB 以下（ピーク値） 51 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	128 +3 dB 以下（最大OSPL90） 111 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 4.0% 以下 800 Hz 4.0% 以下 1600 Hz 4.0% 以下
誘導コイル感度	77 ±6 dB（HFA MASL）

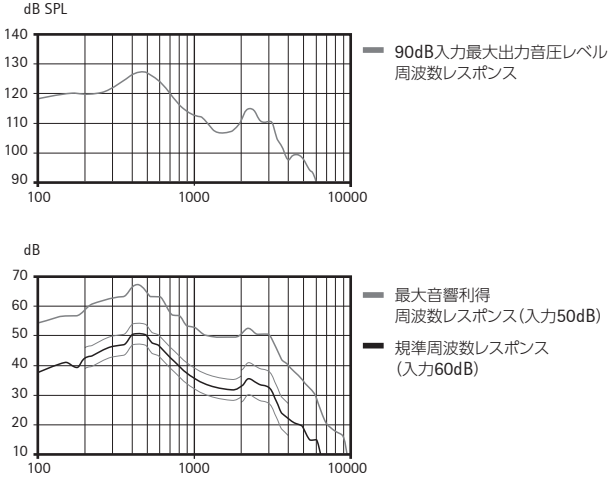
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	70 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	90 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.56 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	130～200時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりスリムチューブαを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-SP
フォナック ボレロ B70-SP
フォナック ボレロ B50-SP
フォナック ボレロ B30-SP

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	中高
最大音響利得（50dB入力）	71 ＋3 dB 以下（ピーク値） 62 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	131 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 125 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　5.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
誘導コイル感度	92 ±6 dB（HFA MASL）

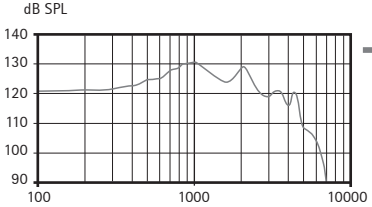
耳鳴マスカ機能使用時

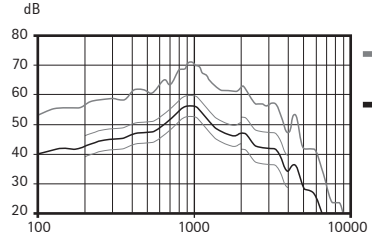
最大出力音圧レベル（ピーク値）	74 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	84 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.92 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	100～160時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパー入りフックを使用して測定・表示してあります。





※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-SP
フォナック ボレロ B70-SP
フォナック ボレロ B50-SP
フォナック ボレロ B30-SP

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	中高
最大音響利得（50dB入力）	73 +3 dB 以下（ピーク値） 62 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	133 +3 dB 以下（最大OSPL90） 125 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 5.0% 以下 800 Hz 4.0% 以下 1600 Hz 4.0% 以下
誘導コイル感度	89 ±6 dB（HFA MASL）

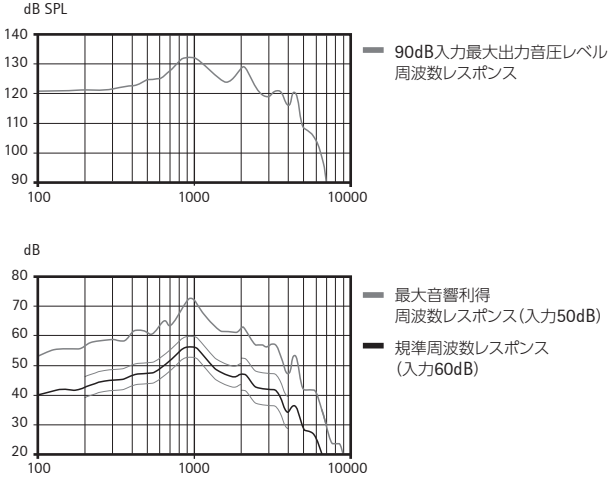
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	72 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	83 ±5 dB SPL

その他

電池の電流	1.92 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	100～160時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパーなしフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ボレロ B90-PR
フォナック ボレロ B70-PR
フォナック ボレロ B50-PR

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	58 ＋3 dB 以下（ピーク値） 51 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	126 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 110 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　4.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.5% 以下
誘導コイル感度	78 ±6 dB（HFA MASL）

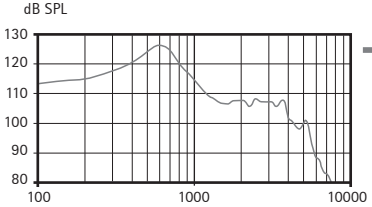
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	69 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	88 ±5 dB SPL

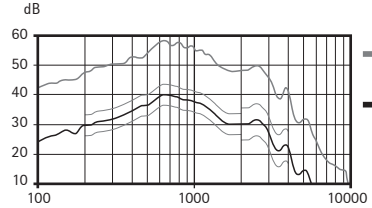
その他

使用電池	リチウムイオン二次電池
電池寿命	57ページ参照
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm³カプラによりスリムチューブαを使用して測定・表示してあります。



90dB入力最大出力音圧レベル
周波数レスポンス



最大音響利得
周波数レスポンス（入力50dB）

規準周波数レスポンス
（入力60dB）

フォナック ボレロ B90-PR
フォナック ボレロ B70-PR
フォナック ボレロ B50-PR

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	66 +3 dB 以下（ピーク値） 58 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	131 +3 dB 以下（最大OSPL90） 125 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 8.0% 以下 800 Hz 7.0% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	89 ±6 dB（HFA MASL）

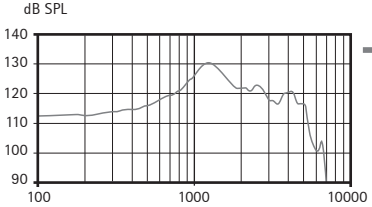
耳鳴マスカ機能使用時

最大出力音圧レベル（ピーク値）	71 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	80 ±5 dB SPL

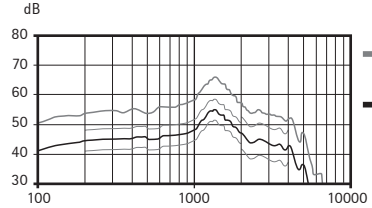
その他

使用電池	リチウムイオン二次電池
電池寿命	57ページ参照
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm³カプラによりダンパー入りフックを使用して測定・表示してあります。



90dB入力最大出力音圧レベル
周波数レスポンス



最大音響利得
周波数レスポンス(入力50dB)

規準周波数レスポンス
(入力60dB)

フォナック ボレロ B90-PR
フォナック ボレロ B70-PR
フォナック ボレロ B50-PR

補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	65 +3 dB 以下（ピーク値） 58 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	133 +3 dB 以下（最大OSPL90） 125 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 8.0% 以下 800 Hz 7.0% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	86 ±6 dB（HFA MASL）

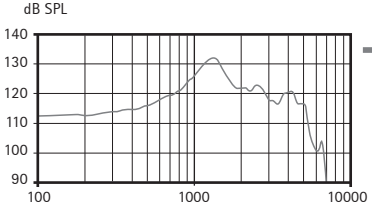
耳鳴マスカ機能使用時

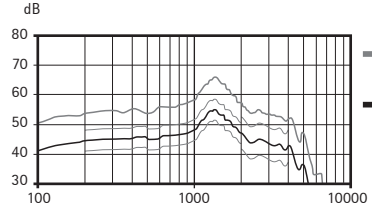
最大出力音圧レベル（ピーク値）	72 dB SPL 以下
広帯域最大出力音圧レベル	80 ±5 dB SPL

その他

使用電池	リチウムイオン二次電池
電池寿命	57ページ参照
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm³カプラによりダンパーなしフックを使用して測定・表示してあります。


dB SPL
140
130
120
110
100
90
100
1000
10000
90dB入力最大出力音圧レベル
周波数レスポンス


dB
80
70
60
50
40
30
100
1000
10000
最大音響利得
周波数レスポンス（入力50dB）
規準周波数レスポンス
（入力60dB）

アフターサービス

■ 保証書（別途添付）

必ず「販売店名」、「お買い上げ日」などの記載をお確かめになり、大切に保管してください。

■ 修理について

保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

■ その他

アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2018年12月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

※ この補聴器は耳を保護する目的で出力120dB SPL以下、利得25dB以下に設定し出荷いたしております。

シンボルマークの説明

CE 0459	CE 記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器指示文93/42/EEC とR&TTE 指示文1999/5/EC のラジオと通信機器・送信機の基準を満たしていることを示しています。CE 記号に続く番号は、Sonova AGに対し指導した公認機関コードを表します。
	この記号は、取扱説明書に載っている製品説明がEN60601-1のタイプB に則っていることを表します。
	この記号は、補聴器を使われる人が取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。
	ゴミ箱に×印の記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。
	この記号は、製造工場が医療機器指示93/42/EECの基準を満たしていることを示しています。
	この記号は、製品の輸送、保管時に水濡れ厳禁であることを示しています。
	この記号は、製品の輸送、保管時の周囲温度が-20℃から60℃の間でなければならないことを示しています。



この記号は、製品の輸送時の環境が湿度90%以下でなければならないことを示しています。

Bluetooth®およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有し、Sonova AGはライセンスに基づいてこれらの商標を使用しています。

その他の商標および商標名は、各所有者に帰属します。

保証について

■ 日本国内における保証期間

日本国内における本製品の無償保証期間は、フォナック ボレロ B90 はお買い上げ日より3年間、それ以外の器種は2年間です。
無償修理の際、保証書が必要になりますが、製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

■ 日本国外における保証期間（国際保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、シェル、アクセサリーパーツ、電池、耳せん、外部レシーバを除く補聴器本体となります。保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。
当規定は上記の修理保証規定により交換・修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

■ 保証適用除外

お客様または第三者の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理に関しては、保証期間内であっても保証適用外となります。修理は、ソノヴァ・ジャパンが指定するサービスセンターでのみ行ってください。
また、補聴器の専門家による補聴器の調整やアフターケア等のサービスに対しても、保証対象ではありません。

■ 紛失・盗難・全損時リニューアルサポート（B90／B70 のみ）

紛失および盗難による本サポート適用には、保証書のほか、遺失届／盗難届等の証明書類が必要です。

Service Policy and Warranty

■ Local Warranty

Please ask the hearing care professional, where you purchased your hearing aid, about the terms of the local warranty.

■ International Warranty

Phonak offers you a one year limited international warranty valid starting from the date of purchase. This limited warranty covers manufacturing and material defects in the hearing aid itself, but not accessories such as batteries, tubes, ear modules, external receivers. The warranty only comes into force if a proof of purchase is shown. The international warranty does not affect any legal rights that you might have under applicable national and legislation governing sale of consumer goods.

■ Warranty Limitation

This warranty does not cover damage from improper handling or care, exposure to chemicals or undue stress.
Damage caused by third parties or non-authorized service centers renders the warranty null and void. This warranty does not include any services performed by a hearing care professional in their office.

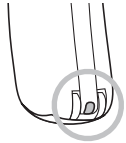
クイックガイド（M／P／SPタイプ）

（いつでも見られるよう、切り取って携帯していただくと便利です）

■ 識別マーカー



Mタイプ

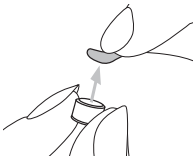


P／SPタイプ

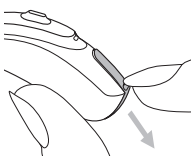
左耳用：青色
右耳用：赤色

■ 電池交換

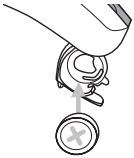
（切り取り線）



❶ 新しい電池のシールをはがす。



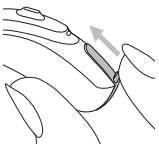
❷ 電池ホルダーを開く。



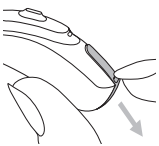
❸（＋）面を手前にして電池ホルダーにセットする。

■ 電源の入/切

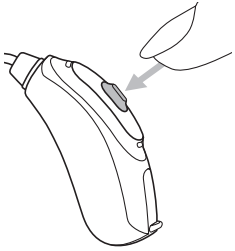
電源を入れる



電源を切る



■ プログラムスイッチ



短く押す：

□プログラム切り替え

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____
6. _____

□音量調節（右大きく：左小さく）

□右：音量↑/左：プログラム切り替え

□右：プログラム切り替え/左：音量↓

□音量調節（大きく）

□音量調節（小さく）

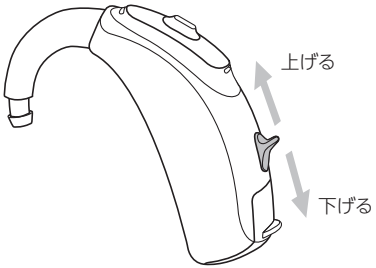
長押し：

□スタートアッププログラム

□マイクロホン減衰

□プログラムジャンプ

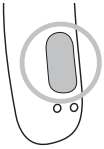
■ 音量調節（P／SPタイプ）



クイックガイド（PRタイプ）

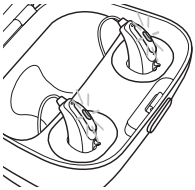
（いつでも見られるよう、切り取って携帯していただくと便利です）

■ 識別マーカー



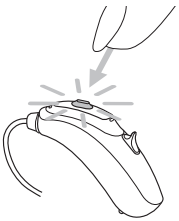
左耳用：青色
右耳用：赤色

■ 充電



充電中：状態表示ランプが緑色に点滅
充電完了：状態表示ランプが緑色に点灯

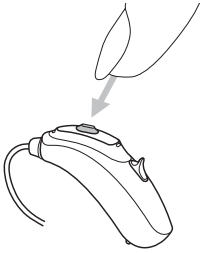
■ 電源の入/切



プログラムスイッチを3秒間長押し
短く1回点滅＝電源オン
短く2回点滅＝電源オフ

（切り取り線）

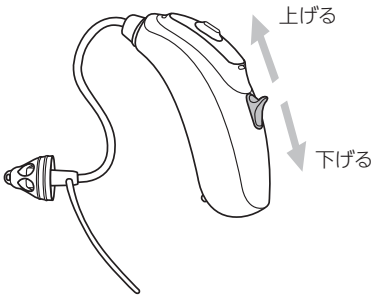
■ プログラムスイッチ



短く押す：
□プログラム切り替え
1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____
6. _____
□音量調節（右大きく：左小さく）
□右：音量↑/左：プログラム切り替え
□右：プログラム切り替え/左：音量↓
□音量調節（大きく）
□音量調節（小さく）

長押し：
□電源の入/切

■ 音量調節



7 613275 567562

029-04476-17/201812/V1.4 Printed in Japan ©Sonova AG All rights reserved

製造販売業

ソノヴァ・ジャパン株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川2-5-8

天王洲パークサイドビル

TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）

FAX 0120-23-4080

www.phonak.com/jp/ja

許可番号 13B2X10021　認証番号 229ABBZX00032000

販売店名

sonova
HEAR THE WORLD

